

ライブ笑 開催!

大草尋常笑楽校 おかしん分校



フタじゃないよ
イノシシだよ
それこそ大誤解



第5回

口上

「面白さ・楽しさ・ユークスを生(ナマ)で味わってもらおう」との校長の思いで創立された大草尋常笑楽校が年三回幸田町民会館で開催されている。「入学試験なし、通知表なし、越境入学大歓迎」と呼ばれるチラシに出来るように、毎回、町外からの「越境入学者」を含め、多くの受講者(生徒)が集まります。「ナマの笑い」を届けたい、地域の人達が気楽に集まれる場を作りたいという杉浦校長の思いに岡崎信用金庫が共感し、平成二十六年一〇月に「大草尋常笑楽校・おかしん分校」を開校しました。今回、第五回目を開催することになりました。笑って過ごすも一日、愚痴って過ごすも一日。ならばみんなであいましょう!

今回の講師



平成31年3月10日(日)

午後1時から午後4時まで
(開場 午後0時)

岡崎信用金庫

本部ビル2階大ホール

岡崎市菅生町字元菅41番地

定員 350名 (申込先着順)

※ 定員となり次第、締め切らせていただきます。

授業料
無料



- 1時限目: 修身「ありがたいお話」…………… 杉浦ぜっ校長
- 2時限目: 社会「変態になって翼を広げよう」…………… 水谷 謹人(ミスタニ モリヒト)
- 3時限目: 保健体育「笑いで認知症予防」…………… 西田 元彦(ニシダ モトヒコ)
～ラジオ体操と休憩～
- 4時限目: 国語「落語」…………… 喜怒家哀楽(キトヤアイラク)

お問い合わせ ● 岡崎信用金庫 地域振興部 TEL0564-25-7213 受付時間/9:00~17:00(土・日・祝日を除く) FAX0564-25-2861

主催 ● 大草尋常笑楽校 共催 ● 岡崎信用金庫

キ リ ト リ

第5回「大草尋常笑楽校・おかしん分校」参加申込書

支店扱い

▶ この申込書(1枚で2名まで申込可)をお近くの当金庫本支店の窓口にご提出、もしくは地域振興部にFAX(0564-25-2861)してください。

※ 定員となり次第、締め切らせていただきますのでお早めにお申込みください。

申込希望者様①

申込希望者様②

ふりがな 住所	〒
ふりがな 氏名	
電話番号	— —

ふりがな 住所	〒
ふりがな 氏名	
電話番号	— —

※ご記入いただいた個人情報は、当金庫の「個人情報の取扱について」に従って適切に取り扱います。詳しくは当金庫ホームページをご参照ください。

★会場のご案内★

- 駐車場に限りがあります。
公共交通機関をご利用ください。
- 名鉄東岡崎駅下車、北口より徒歩7分。
本部ビル西側玄関から入り、本部受付で
受付願います。



講師プロフィール

スギウラ コウジ 杉浦 康司 校長

生年月日 昭和24年生まれ
出身地 愛知県額田郡幸田町
経歴 昭和47年 大学卒業
大手自動車部品会社入社
平成21年 同社定年退職とともに
同社“代表戸締り役”を退任
愛知県農業大学校
“白紙課程”短期コース修了
平成24年 大草尋常実業校設立
同校の“げっ校長”に就任
趣味・道楽 ハガキ道、ひとり新聞発行(滑稽新聞)、メンズクッキング
英語の勉強(ギャルとの英語レッスン)、郵便局の風景印収集
所属 日本笑い学会 会員
弥栄寿会(会社OB会)副会長
楽酒会 会員
人生訓 人生面白おかしく ちょっと ち的に



ミズタニ モリヒト 水谷 謹人 先生

みやざき中央新聞編集長。
昭和34年生まれ。明治学院大学卒業。
宮崎中央新聞社に入社し、平成4年に経営を譲り受け、編集長となる。26年間社説を書き続け 現在も魂の編集長として、心を揺るがす社説を執筆発信中。読者は全国に広がり「みや中読者会」が各地で開かれている。講演は、教育委員会、学校、企業、帝国ホテル、お寺にまで及び幅広い層から支持。この社説を書籍化した著書『日本一心を揺るがす新聞の社説1集、2集、3集、ベストセレクション』は、日経新聞、NHKラジオでも紹介され累計部数は12万部を突破している。著作は9冊に及ぶ。
平成16年 宮崎県男女共同参画推進功労賞受賞
平成25年 社長と共にアフリカ・コンゴ民主共和国を訪問 現地視察と読者会開催
平成26年 宮崎県日向市 トリムプランプレゼンテーション感動大賞・共感大賞W受賞



ニシダ モトヒコ 西田 元彦 先生

西田メディカルクリニック(豊橋市)理事長。
昭和34年、愛知県生まれ。昭和59年 藤田学園保健衛生大学医学部卒業。
名鉄病院。西尾市民病院等で勤務。
西洋医学を中心としながらも、東洋医学や代替医療なども積極的に取り入れるというホリスティック医学の普及に努めている。その一環として、笑い療法についても関心を寄せる。「笑いの免疫力に及ぼす影響」「作り笑いの健康効果」「笑いで胃カメラは楽になるか」などの研究発表、笑いの講演会などを通して笑いによる健康作りを目指している。



役職・資格：

日本東洋医学会漢方専門医、
消化器病学会専門医、
日本消化器内視鏡学会専門医、
日本生気象学会評議員、
東海ホリスティック医学振興会常任理事等



キトヤアイラク 喜怒哀楽 先生

年齢不詳。
茨木市立中学校教員、教育委員会、大阪府教育庁を経て、現在は茨木市内の某中学校長。
小学校4年のとき、TVで桂枝雀さんの落語を見て以来、落語の世界にのめり込んでいく。大学時代には仲間とともに「落語研究会」を結成。華々しく初代部長に就任し、学園祭や老人ホームへの慰問などを繰り返すうちに、「人に笑ってもらうことの喜び」を知る。



平成12年、落語家 故桂吉朝さん(桂米朝門下・平成13年度上方お笑い大賞受賞)に出会い、10日間つきっきりで落語の基礎基本の特訓を受け、今まで知らなかった落語の「奥深さ」を知ることとなる。
平成13年、毎日放送TVの「素人名人会」で古典落語『阿弥陀池』を演じ、「名人賞」を獲得。
平成29年、第9回 社会人落語日本一決定戦にて優勝。「名人位」を獲得。